



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 1830



狩野会長 始球式（関東近県中学生選抜野球大会にて）銚子市野球場

第1830回 例会 平成21年9月1日

点 鐘 … 狩野 勉 会長

国 歌 … 君 が 代

ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨 拶 … 狩野 勉 会長

御 祝 披 露 … 狩野 勉 会長

誕 生 祝 … なし

結 婚 記 念 日 … なし

入 会 記 念 日 … なし

幹 事 報 告 … 吉田 孝至 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「千葉科学大学留学生の現状について」

千葉科学大学 国際交流室 吉井 悠子 氏

出 席 報 告 … 出 席 委 員 会

クラブ協議会

来週のパログラム(平成21年9月8日)

卓 話

「未定」

千葉科学大学 留学生 韓 志剛 氏

(千葉科学大学RAC)

お食事「和」



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010 年度 R I 会長 ジョン・ケニー (John Kenny)

第 1829 回例会(平成 21 年 8 月 25 日)

会長挨拶

狩野 勉

こんにちは。本日は 2790 地区会員増強・拡大委員会委員長菅井直秀様、地区職業奉仕委員の富一美様にお越しいただいております。お二人とも成田空港南ロータリークラブに所属しておいでになります。会員増強・拡大月間に因んで、後ほど卓話をいただきます。よろしくお願い致します。

8 月 22 日・23 日は改装がほぼ終了した銚子市野球場で開催された、本クラブも助成しております第 35 回関東近県中学生選抜野球大会の開会式・閉会式に出席してきました。今大会は銚子六中をはじめ千葉県および東京都から 2 校、茨城、神奈川、埼玉、山梨の各県から 1 校の計 8 チームが熱戦を繰り広げました。23 日の決勝戦は東京都代表明治大学付属明治中学校が 2 対 1 で神奈川県代表の座間市立栗原中学校を下し栄冠に輝きました。澤田大会会長をはじめ皆様ご苦勞様でした。

ところで、皆様からご承認をいただいております新入会員の方の入会時期が遅れることになりましたのでご報告いたします。

さて、前回、教員免許状更新講習実施についてお話ししたしましたが、もう少し関連した話をさせていただきます。本学はこの 7 月 17 日に文部科学省の教職課程認定大学実地視察を受けました。これは教員を養成するための認定を受けている大学がカリキュラムや指導体制等をきちんとやっているかどうかを、中央教育審議会教員養成部会の委員等が視察委員となり、実際に現地を訪問して確認することです。ほぼ 1 日をかけて行われましたが、本学は開学当初から銚子市の支援を受け、教員養成についても市教育委員会、小・中・高等学校のご協力により教育実習なども行わせていただいておりますので、お陰様で、特に地域との協力体制に対して高い評価を得ました。第二期生までが卒業しましたが、現在、6 名が中学校、高等学校で理科教員として働いています。これも皆様のご支援の賜物として感謝いたしております。今後ともよろしくお願い致します。このように、大学も自己評価、第三者評価など定期的にチェックを受けながら運営しております。いずれにせよ全国的に大学も学生数の安定的な確保により、財政の安定化を図ることが求められています。また、投資により巨万の富を築いたアナリスト、ジム・ロジャーズ氏は今後の日本の選択肢として、①子供を増やす②移民を受け入れる③国全体の生活水準を下げる、の三つしかない指摘し、①子供を増やす、ことが最も適切であろうと言っています。彼の指摘を待つまでもなく、我が国だけでなく、あらゆる国において、地球環境を配慮した新しい産業構造の構築と、安定的な各世代人口の確保が重要になっています。

ロータリーもまた、厳しい状況ではありますが、ロータリーの存在意義を再確認し、安定的な会員数確保のための努力が必要だと思っております。ご協力のほどよろしくお願い致します。

幹事報告

1・ガバナー事務所より

・9 月ロータリーレートについて 1\$ = 94 円

- ・09-10 年度地区運営資金補正予算について(報告)
- ・地区協議会報告書送付について
- ・平成 21 年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動に対するご協力のお願について 受領
- 2・銚子市交通安全都市推進協議会より
被表彰候補者の推薦について 受領
- 3・第 31 回銚子市民バザール大会実行委員会より
市民バザール大会打合わせ会結果について (お知らせ) 受領
- 4・例会変更のお知らせ

八日市場 RC より 9/15(火) 点鐘 18:30

「梅田屋」夜間移動例会(観月会)の為 受領
☆週報受領 八日市場 RC

卓話

「会員増強に因んで」

第 2790 地区会員増強拡大委員長 菅井 直秀 氏

会員増強拡大委員長の菅井直秀と申します。宜しくお願い致します。

これからの一年を通じて思う事は、各クラブともロータリーの原点に立ちかえり、基本を勉強して自クラブを魅力ある例会にしませんか、そして質の向上に努めましょ



う。コンプライアンスは根幹ですが、ロータリーでは道徳と倫理を付け加える事が大切です。それから会員増強の大切さについて今一度話し合ってみませんか。ロータリーにとって会員増強は「ロータリアン最大の奉仕であり、責任である。」ということ。そしてロータリーの最大の財産は「ロータリーの会員である」を忘れてはならないということです。どのような組織でも人を育て後継者を育成していくことが出来なければ、組織そのものが存続しません。各クラブは地域密着型のロータリーを目指しておりますが、地域に一人でも多くのロータリーの奉仕の理念を持った善良なロータリアンを増やし、そのロータリアン一人一人が地域に良い影響を与えるということは、必然的に地域が良くなるということを意味します。そして会員であるロータリアンが会員候補者を入会に導くことは、どんな善行よりも立派な善行であり立派な利他行(徳を積む)であると言えます。「情は人のためならず」と申します。「善き思い」を持つとその人の運命が好転するという現象は、人を助けるような美しい思いがすべての法則に叶っているということをやまず念頭に置きながら、ぜひ皆さんがその思いを持って向上心を持ち、ロータリーを自ら前進させロータリーの理念にふれて、自らを磨くことのできる高い資質を有する人をロータリーへ導き入れて頂きたいと思っております。

会員増強と退会防止は以上ですが、各クラブは純増一名を絶対達成して下さい。会長がやる気をおこせば出来ます。地区会員増強委員会としては会員数 20 名前後のクラブを重点的に訪問して、会員基盤の維持について相談していきたいと思っております。RI 理事会は効果的なクラブ運営の枠組みとして CLP を決定しました。

① 会員基盤の維持及び増強

- ② 地域や他国の地域のニーズに見合った成功するプロジェクトの実施
- ③ 財政的寄付とプログラムの参加を通じて財団を支援する
- ④ クラブレベルを超えてロータリーへ奉仕できるリーダーの育成

これらを考えて、各クラブに適した独自の特性を生かす計画を作成し、活性化と楽しく充実したロータリークラブ活動が出来るように頑張ってください。

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あります。

地区職業奉仕委員 富 一美 氏

私は地区職業奉仕委員の富と申します。本日は、会員増強・退会防止にかかわる卓話でございますので、会員増強に関係したことを職業奉仕委員の立場で「クラブリーダーが常に会員の意識を変える努力をする」ということをポイントに改めて皆さんと考えてみたいと思います。



会員増強・退会防止に関しましては、何にしましても会員の意識の問題が大きく拘ってくると私は思います。一例と致しまして、私どものクラブを例に取り上げますと、最盛期には約60名の会員数を擁しておりましたが、数年前に30名以下に会員数を減らす状況に至りました。そこで大変な危機感を持ちまして、「このままではいけない」と、現クラブ研修リーダーでございます菅井さんを中心として、数名の会員で奮起しまして、会員の質と量の問題も含めて、「もう一度原点に立ち返ってみんなで考えよう」ということになりました。そのことが切っ掛けとなりまして、大きな気付きを得ることができ、その気付きによりまして、2006年度から3年連続で平均的に純増4~5名を達成することが出来ました。その気付きとはどういうことかと申しますと、クラブ会員の物心両面の満足を得ることが出来ていなかった要因の洗い出しにより、考え方や意識の改革の必要性でありました。一つの要因としまして、奉仕の思想・理念を理解しないまま理念の裏付の無い実践活動を行ってしまっていたということでもあります。つまり、奉仕の理念の研鑽を怠って、奉仕活動である社会奉仕や国際奉仕の活動ばかりに目を向けてしまって専念をするあまり、ロータリー運動の本質である職業奉仕を忘れてしまったり、勝手な解釈をされておられる会員が多く見受けられました。結局そればかりをやっている、基本を忘れてしまって、それがロータリーの魅力を失わせ、不満足の原因に成っていたということでもあります。必然的に会員としての満足感（物心両面の満足感）、そして達成感や会員としての存在意義を感じ取れないでいたということは否めない事実であったと思います。皆さんご存知の通り、ロータリーの綱領が、「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」という文言で始まっておりますが、これはロータリーの根幹が職業奉仕にあることを意味しているわけです。数多く存在する奉仕クラブ

の中で、職業奉仕の理論付けと実践を活動主体とするクラブは、ロータリークラブ以外には存在せず、言い換えれば職業奉仕団体であることがロータリークラブの特徴であるはずですが、最近ではロータリーが単なるボランティア活動を行う団体と思われるほど、その方面のみが特化されてよく広報をされておりますので、これもやっぱり間違った理解の原因となっているような気が致します。又、最近ではロータリー活動も本当に多面的に成ってまいりまして、新しい会員にはロータリーとは何であるのか余程よく説明をしませんとわかり難いと思っておりますので、ロータリーに経験の深い、ベテランロータリアンによる簡明な説明が伴わないと、ロータリーが何であるか分からないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧をするところでございます。先ほど、菅井会員増強委員長からロータリーにとって会員増強は、「ロータリアン最大の奉仕であり、責任である」と、そして、ロータリーの最大の財産は「ロータリーの会員である」ということを忘れてはならないというお話がございました。おそらくどちらのクラブでも大方の会員の皆さんは、会員増強が奉仕という観念とはかけ離れたものと思いをされておられるのではないかと思います。実は、私どものクラブも恥ずかしながらそうでありました。この意味を紐解きますと、どのような組織でも人を育て後継者を育成していくことが出来なければ、組織そのものが存続をしませんし、機能もしないということは紛れもない事実であります。しかし、皆さんロータリーはそれだけではないはずですが、もっともっと大きく影響することは、地域社会に一人でも多くのロータリーの奉仕の理念を持った善良なロータリアンを増やして、その心を高め、人格を高めたロータリアン一人一人が各々の生業や地域社会に良い影響を与えるということは、必然的に地域社会が良くなるということの意味しているわけでありまして、従いまして、会員増強は立派な奉仕であります。そして、それに伴いもう一つ大事なことは会員であるロータリアンが会員候補者を入会に導くことは、どんな善行よりも立派な善行であり、立派な利他行（徳を積む）であると言えます。「善き思い」を持つと運命が好転すると言う現象は、人を助けるような美しい思いが宇宙の法則に叶っているということ、まず念頭に置き、是非皆さんがその思いを持って、質の高い優秀な人材をロータリーへ導き入れて頂きたいと思っております。これが、グローバルな視点から考えますと、世界中のロータリークラブが同じ意識を深めたとしたら、もっともっと素晴らしい展開が開かれて世界平和に繋がることと思っております。これにより、ロータリーにとっての会員増強が「ロータリアン最大の奉仕であり、責任である」こと。そして、ロータリーの最大の財産は「ロータリーの会員である」ことの意味がお分かりになられたことと思っております。ロータリー哲学は、奉仕の実践哲学です。クラブリーダーが常に会員の考え方や意識を良い方向へ導く努力をするということが大切ではないかと思います。

続いて、クラブ全体の意識を変える手法等についての参考例として私どもが所属するクラブでとった CLP 導入による実践例をご紹介しますながらお話をさせていた

できます。まず、クラブリーダーが常に自分のクラブがどのような状態かを知ることが必要であろうと思います。つまり、ロータリーの運営を考える時に、自分のクラブはどんな特徴を持っていて、何処に長所があり、又、何処にや欠点があるのか、そして、その問題個所をどのように修正したらよいのかということです。ところが、その問題個所を的確に、そしてまた客観的に評価する方法というのは実に難しいことになってきて、科学的或いは計量的物差しになる基準と言うものがロータリーには無かったのではないかと思います。それが為に、毎年、“例年並み”“当たらず触らず”の基本方針が中心であったことは否定できないことでもあります。又、ロータリーに“変えなければならぬもの”と、変えてはならぬもの”があるという常習的な言い回しの中に“変えて波紋を起こしたくない”というある種の詭弁が入っていたように思えてならないのは私だけではなく、会長経験者の皆さんならば一様にそう思われたのではないのでしょうか。

私は、CLP はロータリーの組織運営における ISO のようなマネジメントシステム的な要素があると思います。この一つのファクター（要素）としてクラブ並びに各委員会が継続的改善、つまり Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（見直し）を繰り返し行うことによって、次のクラブ活動や委員会活動の見直し・反映が確実にでき、そして、常にスパイラルアップ（螺旋状に向上）するところにあります。もっと簡単に申し上げますと、常に遣ったことに対して評価、見直しを繰り返して、常に向上させようとする方向へ導く方法（仕組み）と言う事になります。この他にも当事者能力のある会長幹事で、3 期に亘るローリングプランの立案策定や常任委員会への会員の人員配置の工夫など、制度疲労化したクラブの枠組みを変え、存在価値のある活性化集団に生まれ変わることが出来ます。つまり、クラブの全会員が物心両面の満足を得るための手段でもあります。常に朝令暮改の精神で全会員が積極的にロータリー活動に参加することにより、積極的なロータリー、活性化したロータリー、クラブリーダーが育成されるロータリーになると思います。そして、クラブ会員の皆さんに何度も以下のようなことを申し上げてまいりました。CLP のねらいは、クラブの体質強化、クラブの活性化であること。活性化、体質強化には様々な取り組みがありますが、待ちの姿勢では活性化にはならないこと。やはり奉仕に係る親睦や活発な会員間のコミュニケーションにより、会員の皆さんの達成感や満足感が得られなければ、いつしかメッキが剥がれてしまい、元の黙阿弥になってしま

うこと。「継続は力なり」と申します。継続的改善を繰り返し繰り返し行うことが大事で、常に積極的な姿勢を持ち続けることを忘れないで頂きたいということ。以上の様なことが私どもが所属するクラブでとった CLP 導入による実践例のご紹介でございます。

時間の関係等もございますので、これを持ちまして私のお話を終わらせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

—————ニコニコ—————

地区会員増強・拡大委員長 菅井直秀様
地区職業奉仕委員 富 一美様

ニコニコを頂きました。ありがとうございました。

狩野勉会長・吉田孝至幹事

菅井直秀地区会員増強・拡大委員長様、富 一美地区職業奉仕委員様、ようこそお越し下さいました。ご指導よろしくお願い致します。

澤田武男君・杉山正躬君

皆様に応援をいただいた広島でのリトルリーグ全国選抜大会では、一回戦 10-0 で勝ち、二回戦は延長戦で、1-0 で平塚リトルに残念ながら負けました。ありがとうございました。

両クラブ合同スポーツ大会の記事は次週に掲載致します。

——— 前 回 の 例 会 (8/25) 報 告 ———

点 鐘 狩野 勉 会長

出席報告

会員総数	35 名	出席規定除外数	8 名
出席者	19 名	出席率	70.37 %
8月4日		確定出席率	70.37 %

来訪ロータリアン

地区会員増強・拡大委員長 菅井直秀様
地区職業奉仕委員 富 一美様 (成田空港南RC)
岩島貴裕君 (千葉科学大学RAC)

欠席者 8名

メークアップ

網中(吉)君 石上君 石井君 狩野君 川津君
黒田君 宮内(博)君 澤田君 杉浦君 吉田君
(8/26 合同スポーツ大会)

スモールコインBOX 小 計 ￥ 1,950-

累 計 ￥ 15,299-

ニコニコBOX 小 計 ￥ 17,000-

累 計 ￥111,000-

銚子東ロータリー・クラブ 銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>
例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室
会長 狩野 勉 副会長 杉浦 武 幹事 吉田孝至
R. I 第2790地区 クラブ広報・会報委員会 澤井 博・澤田武男・大内恭平・山本幸男・杉浦 武
表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ 古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。